

日 時	発 表 者	連絡先	発表・配布先
令和8年7月31日（金）	（公財）ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 上村 治三 （成長支援課長 中筋 雅之）	078-977-9118	

「成長期待企業」（2026年度第1四半期選定）の情報提供について

（公財）ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに以下の4社（累計643社）を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 （株）エムアンドエー（商業施設の空間内装の施工・看板や木製家具の製造）

お客様の理想をカタチにする総合空間プロデュース！

（1）沿革等

- ・1994年（平成6年）1月に空間設計デザイン事務所として自宅にて「M&Aスペース」を創業。同年（平成6年）5月に施工事業を開始し、事業領域を拡大した。1996年（平成8年）に法人化を行い、「株式会社エムアンドエー」を設立。本社を現在地である兵庫県伊丹市へ移転し、現在に至る。

（2）同社の特徴

- ・商業施設・オフィス等の空間内装施工、自社工場による家具・什器製作、サイン製作をシームレスに統合し、空間全体をプロデュースする事業者である。設計・製作・施工を分断しないワンストップアッセンブル体制を強みとし、詳細図作成や施工段取りに関する豊富なノウハウにより、オーダーメイド案件で発生しやすい手戻りや作り直しを抑制。短工期・高品質・ノンクレームを実現し、特注・小ロットに特化した大手が参入しにくいニッチな市場において独自ポジションを築いている。



シーティング専門店の施工例。
唯一無二の展示スペースで
商品の魅力を最大限引き出す。

（3）今後の展開

- ・新規事業では、専門性が高く成長が見込まれるラボファニチャー事業を成長分野として位置付け、第二の柱となる事業へ育成を進める。自社保有不動産のリノベーションや有効活用にも取り組み、新たな収益機会の創出を図る。また、オープンファクトリーを核としたブランド戦略により、技術力の可視化、採用力強化、地域連携を推進。営業面ではデジタル発信や展示会出展を通じて新規顧客を開拓する。生産面では多能工育成と内製化強化で生産の向上を図り、持続的成長を目指す。



本当にオープンなファクトリー
見学体験ができる伊丹市の
新オフィス&工場

【（株）エムアンドエー 概要】

代 表 者： 金澤 忠幸
資 本 金： 2,000万円
従業員数： 29名（内パート3名）
所 在 地： 伊丹市北河原2丁目9番3号
設 立： 1996年（平成8年）5月
電話番号： 072-777-5564
ホームページ： <https://www.m-and-a-co.jp/>



2 バンシュー(株) (機械装置部品の表面処理(サンド、ショットブラスト、塗装))

播州から、世界へ。 産業界の彩り役！

(1) 沿革等

- ・1962年(昭和37年)に田中禮三氏が明石市で「播州興業」として創業した。1964年(昭和39年)に株式会社へ改組し、現在の本社所在地である明石市へ移転。1990年(平成2年)に社名を「バンシュー株式会社」へ変更。2011年(平成23年)に現代表の田中晋一郎氏が代表取締役役に就任し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・明石市を拠点に、機械装置部品の表面処理(サンド・ショットブラスト、塗装)を行う専門企業である。一般金属塗装、重防食塗装、焼付塗装を中心に、建設機械・ロボット・社会インフラ産業を主要顧客としている。最大50t級の重量物や長尺物に対応できる大型設備を保有し、鉄・アルミ・銅など多様な素材への高品質塗装を実現している点が強みである。また、顧客隣接型の工場配置により物流負担を軽減し、緊急案件にも迅速に対応できる体制を構築。さらに、仕様決定段階から課題を指摘し提案する技術力が高く評価されており、ロボット部品や半導体関連など高難度領域での実績も豊富である。



機械装置部品への塗装

(3) 今後の展開

- ・既存事業の高度化に加え、手術支援ロボットや原子力関連部品といった成長分野への参入を強化する。手術支援ロボットでは、アルミ鋳物の鏡面仕上げや塗膜剥離ゼロなど高難度要求に応え、増産体制の構築を進める。原子力分野では、重防食塗装や重量物取扱いの知見を活かし、厳格な品質基準や技能検定制度の整備を進めながら継続的な受注拡大を図る。また、市場拡大に対応するため設備更新や自動化、省人化を推進し、生産性向上と工期短縮を実現し、持続的成長と地域への貢献を目指す。



金属の小粒子を高圧で吹き付けて表面を研磨する金属加工

【バンシュー(株) 概要】

代 表 者： 田中 晋一郎
資 本 金： 4,800万円
従業員数： 101名(内パート0名)
所 在 地： 明石市大久保町大久保町462-1
設 立： 1964年(昭和39年)12月
電話番号： 078-936-1446
ホームページ： <https://banshu-paint.com/>



3 (株) 藤本工務店 (新築戸建販売、土地・中古住宅の仲介、住宅買取再販、トレーラーハウス等)

安心して快適に暮らせる住まいを提供！

(1) 沿革等

- ・1953年(昭和28年)に初代・藤本正治氏が個人商店として創業した。1973年(昭和48年)に二代目社長・藤本安夫氏が法人化し、有限会社藤本工務店とする。2004年(平成16年)に藤本和敬氏が社長に就任し、社名を現在の株式会社藤本工務店へ変更した。2021年(令和3年)に屋号を「いえとち工房」へ変更し、2022年(令和4年)に不動産事業部を始動。2024年(令和6年)に姫路支店をオープンするとともにトレーラーハウス事業を開始し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・地域密着50年の信頼と高い木造建築技術が強みに、新築戸建住宅・不動産仲介・買取再販・トレーラーハウスなど住まいと土地活用に関わる幅広い事業を展開している。主力の新築住宅は「ラクラクの家」「涼夏暖冬の家」「平屋物語」など多様なブランドを持ち、低予算層から高性能住宅を求める層まで幅広い顧客ニーズに対応している。特に「北播磨匠の技」を持つ技術者による木造建築の高い技術力と長年のノウハウにより、着工から完成まで平均75日と、競合他社の約半分の短工期を実現している。



夏冬快適で健康的に暮らせる
「涼夏暖冬の家」

(3) 今後の展開

- ・テレワーク普及・地方回帰・ZEH義務化などの市場変化を成長機会として捉え、事業拡大を図る。特に、断熱性能・耐震性能を高めた次世代型高性能住宅の提供に注力し、「教育・労働・環境に優れた空間」としての付加価値を高める。また、姫路支店開設を契機に開始したトレーラーハウス事業で建築不可エリアへの設置や低予算ニーズに応えるブルーオーシャン市場を開拓し、さらなる成長を目指す。



アイデア次第で何にでも
使えるトレーラーハウス

【(株)藤本工務店 概要】

代表者：藤本 和敬
資本金：1,000万円
従業員数：14名（内パート3名）
所在地：小野市敷地町1603-1
設立：1973年（昭和48年）
電話番号：079-227-0052
ホームページ： <https://ieterace-fujimoto.jp/>



4 ニッシンコーポレーション(株) (伸縮継手製品及びフッ素樹脂製品の製造)

技術と品質にこだわったモノづくり！

(1) 沿革等

- ・ 1959年(昭和34年)に日進ジャバラ工業(株)として創業した。1975年(昭和50年)に日進ケミカル工業(株)を設立。1995年(平成7年)に日進ジャバラ工業(株)と日進ケミカル工業(株)の2社を統合し、社名をニッシンコーポレーション(株)へと変更し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 独自のフッ素樹脂加工技術を核とするケミカル事業と、インフラ設備を支えるジャバラ(伸縮継手)事業の二本柱で高付加価値経営を展開している。主力のケミカル事業では、半導体洗浄薬品の貯蔵・輸送用に外注したタンクの金属母材内部に2~3mmのフッ素樹脂シートを精密に貼り合わせる「フッ素樹脂シートライニング施工」がコア技術である。この技術を超純水洗浄技術と組み合わせることでナノレベルの清浄度を実現し、 $0.1\mu\text{m}$ 以下の極微小な異物管理が求められる先端半導体メーカーの要求に応える品質を確立している。一方、ジャバラ事業では火力発電所や製鉄所などの配管系統で熱膨張・振動を吸収するエキスパンションジョイントを製造し、過酷環境に耐える材料選定と設計力でインフラの安定稼働を支えている。



金属母材のタンク内部へのフッ素樹脂シートライニング加工



内部にフッ素樹脂シートライニング加工を施した半導体プラント等で使用される貯槽

(3) 今後の展開

- ・ 世界的な半導体需要拡大と $0.02\mu\text{m}$ 世代の微細化進展を背景に、次世代半導体向け大型・超高純度タンクの供給体制を強化する。特に、陸上輸送が不可能な大型タンクの需要増に対応するため、海上輸送体制を構築し、国内メガファブは勿論、海外も視野に入れ直接供給を実現する。さらに、ライニング工程の施工データ分析等による品質改善の仕組み化を進め、増産要請に耐えうる強靱な生産体制を構築し、市場ニーズに迅速に対応していく。

【ニッシンコーポレーション(株) 概要】

代 表 者： 福本 純
資 本 金： 5,000万円
従業員数： 102名 (内パート0名)
所 在 地： 尼崎市潮江5丁目8-30
設 立： 1959年(昭和34年)12月
電話番号： 06-6426-2000
ホームページ： <https://www.nisshin-corp.co.jp/>



〔参考〕成長期待企業について

1 概 要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する（原則２年間）制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準（選定基準より一部抜粋）をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針（経営理念、具体的目標、ビジョン）がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後３年間に於いて、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」（原則２年間）
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」（原則２年間）
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供（ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催）
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載